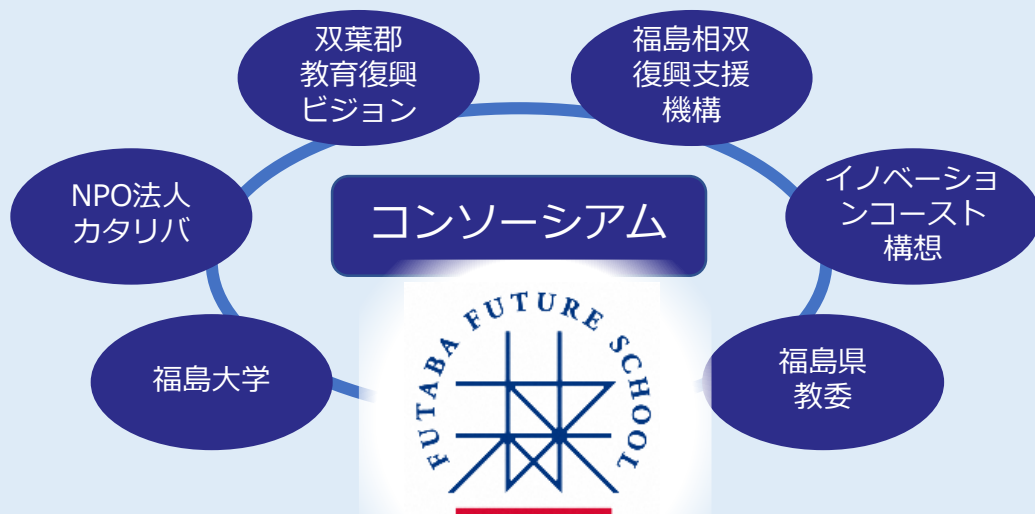


原子力災害からの復興を果たし、新たな地域社会を創造するグローバル・リーダーの育成

【経緯】本校は東日本大震災、福島第一原発事故により休校になった5校の伝統を継承する形で設立された。設立の経緯から本校の使命の一つは地域復興への貢献に資することにある。本事業により、復興を担う人材の育成、教育と地域復興の相乗効果の創出、地域課題とグローバル課題の効果的な往還による学びを目指す。

【実施体制】

ふたば未来学園と双葉郡による広域協働コンソーシアム



福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校



【令和4年度の目標】

- コンソーシアムの活用と教育と復興の相乗効果の創出
- 探究カリキュラム整備と継続的・発展的活動にむけての環境整備
- 探究学習の成果を県内外の学校へ普及

【取組状況】

- ・8町村すべての町村での協働や大学、カタリバと協働しながらカリキュラム開発を進めた。
- ・中高6年間の探究カリキュラムの開発や地域課題とグローバル課題を重ねた海外研修プログラムを実施してきた。
- ・研究成果報告会や教員研修会等で成果の報告を行った。

【成果と課題】

- コンソーシアムの本格的運用、地域知や専門知の効果的な接続、活用等を通じ、外部との組織的連携が強化された。
- 探究の早期導入や広域展開、活動件数の増加、各種コンテスト最優秀賞受賞等、質的にも量的にも活動の隆盛が見られた。
- 文理融合カリキュラムをさらに推進するため、教科横断的なカリキュラムデザインについて取り組む必要性が高まった。
- 社会との関わりや自分の価値観への影響調査において今年度は肯定的評価が7割弱に急落しており（昨年まで約9割）、探究学習と自己の在り方生き方の影響に関する考察が急務である。